

旅行者の安全・安心アクションプラン

# 沖縄Tour Style

## With コロナ

### 沖縄県

新型コロナウイルスに負けない  
安全・安心な観光地づくりに関する対策会議

# はじめに

この「旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄Tour Style Withコロナ」（以下、「沖縄Tour Style」という）は、「With コロナ」時代における望ましい観光のあり方を見据えつつ、県民が安心して旅行者を迎え入れ、旅行者が少しでも安全・安心に沖縄観光を楽しんでもらうことを念頭に、県と観光関連業界だけではなく、医療界の疫学的意見も参考に官民一体となって策定したものである。

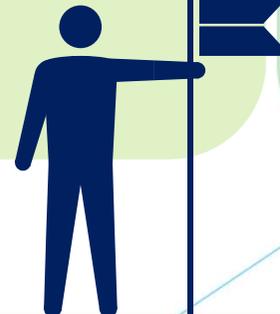
あなたに届けたい

旅行者  
来訪者  
県民  
観光事業者



私たちが取りまとめました！

沖縄県  
OCVB  
観光関連団体



いつから？

2020年  
6月19日から



## II 旅行者の安全・安心アクションプラン

沖縄Tour Styleの基本的な考え方は、

### 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」

(令和2年3月28日(令和2年5月25日変更) 新型コロナウイルス感染症対策本部決定)

「沖縄県観光危機管理基本計画」(H27/3策定) 「沖縄県観光危機管理実行計画」(H28/3策定)

### 「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策に係る実施方針」

(令和2年5月28日沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部決定)

### 「安全安心の島・沖縄モデル」

#### ～新型コロナウイルス感染の第二の波に備えた防災フロンティア・沖縄～

(令和2年5月28日沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部決定)

を踏まえたものである。

今後、県内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、  
適宜見直しを行っていくものとする。



# 1 主なポイント

## (1) 水際対策と発熱者・感染懸念者発生時の取り組み



### ① 水際対策

- ・那覇空港における感染懸念者への対応
- ・旅行者専用相談センター（Traveler's Access Center Okinawa）（以下、「TACO」という）の設置

### ② 市中感染拡大防止対策

- ・各観光施設への訪問時、移動時における感染懸念者への対応



## (2) 旅行者視点・旅行行程に沿った対策の整理

- ・旅前（居住地）、沖縄到着（空港）、旅中（観光施設、移動）、沖縄出発（空港）、旅後（居住地）で区分し、繋げることにより、切れ目のない対策の実施



## (3) 情報の発信・伝達・収集

- ①発信：旅行者への沖縄Tour Styleの事前告知・県内感染状況の情報発信
- ②伝達：観光関連団体・事業者への感染懸念者の情報伝達と共有
- ③収集：沖縄から帰省した後の旅行者の健康状態の情報収集 など



## (4) 各主体の役割の整理

- ・Withコロナ時代の旅行者の受入に当たって、行政、観光関連団体・事業者の他、旅行者としての観光客、県民の役割の整理



## 2. 水際対策と発熱者・感染懸念者発生時の取り組み

### (1) 水際対策の取り組み

#### ① TACO（旅行者専用相談センター）の設置

- 水際対策の強化を図るため、那覇空港内に県民を含む旅行者を専用としたTACO（旅行者専用相談センター/Traveler's Access Center Okinawa）を設置し、発熱等がある旅行者への支援等、感染症の予防・拡大防止対策を行う。



#### ② 空港到着時

- サーモグラフィーにより発熱がみられる旅行者には、本人の同意を得た上で、非接触型体温計による体温測定を実施する。

#### ③ TACOで確認

- 旅行者は同意する場合、那覇空港内に設置されたTACOで健康状態等の確認を受け、TACOの案内により保健所へ問い合わせる。

#### ④ 空港から直接、指定医療機関へ

- 問い合わせた結果、保健所による診察勧告があり本人が同意する場合は、TACOが手配した指定の車両により、指定医療機関等へ移動し診察を受ける。
- 発熱者は、指定医療機関の診断により、PCR検査を受ける。



# 旅行者専用相談センター沖縄について

## (TACO : Traveler's Access Center Okinawa)

### 目的

新型コロナウイルスが存在する「With コロナ」の環境下において、県民を含む旅行者を対象に新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止を図るため、関連情報を収集、伝達共有、発信するとともに、空港等の水際や旅行中における旅行者の相談支援体制を整備し、旅行者が安心して訪れ、県民や観光産業従事者が安心して迎え入れられる環境を整備する。

### 体制

- 設置者 沖縄県
- 運営者 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- 所在地 那覇空港ビルディング内
- スタッフ体制 看護師6名、事務スタッフ3名
  - ※ 看護師2名、事務スタッフ1名の2交代制で対応
- 運営期間 令和2年6月19日～3月31日(予定)
- ✓ 開所時間 6時～23時

### 役割

- 発熱者対応(空港)
  - ①サーモグラフィー等連携(発熱感知連絡受信)
  - ②健康確認等への協力依頼・誘導
- 旅行中のコールセンター機能
  - ①健康相談 等
  - 感染懸念者サポート
    - ①検査実施機関との調整 等
  - 情報収集・伝達・発信
    - ①旅行業者との連携 等



## 2. 水際対策と発熱者・感染懸念者発生時の取り組み

### (2) 市中感染拡大の防止対策の取り組み

#### ① 旅中における発熱者・感染懸念者への対応



- 旅中において発熱や体調不良を起こした旅行者は、TACOへ問い合わせる。状況を伝えた後、案内があれば、管轄保健所へ問い合わせる。
- 国の動向も踏まえながら、接触確認アプリの活用を検討する。

#### ② 宿泊施設の対応



- 感染懸念者が受診・検査を行った後、検査結果が判明するまでの間、宿泊する施設提供の協力。
- 他の宿泊客への感染リスク対策の取り組み。

#### ③ 搬送体制の整備

- 十分な感染予防装備を施した車両による搬送

#### ④ 情報の提供

- その他、TACOからは、旅行者に対し、感染懸念者の受け入れ可能な宿泊施設、観光施設等の対策情報、その他旅行者にとって必要な情報を提供する。



# 3. 観光関連事業者等が取り組むべき感染予防・拡大防止対策

## (1) 全旅程共通の取り組み

### ① 基本的対策

- ・手洗い、消毒、マスク
- ・旅行者へのマスクの着用の促進
- ・予防対策実施チェックリストの作成・運用 等



### ② 3密の防止対策取り組み

- ・手続きのオンライン化
- ・混雑時の分散 等

### ③ 対人距離の確保(接触・飛沫対策)

- ・動線・デザインの確保
- ・ソーシャルディスタンスの確保 等

### ④ 換気対策

- ・こまめな換気
- ・休憩施設の換気 等

### ⑤ 施設・設備・物品の消毒

- ・消毒・除菌の徹底
- ・車椅子など貸出物の消毒 等



## (2) 各旅程毎の取り組み

### ① 旅前(タビマエ)

- ・旅行前の体調管理。
- ・発熱症状がある旅行者への自粛の呼びかけ等

### ② 沖縄到着

- ・サーモグラフィー等による検温の実施
- ・センターによる健康状態等の確認 等

### ③ 旅中(タビナカ)・移動

- ・2次交通及び施設事業者の各自のガイドラインに基づく対策の実施 等

### ④ 沖縄出発

- ・サーモグラフィー等による検温の実施
- ・自動チェックイン機の利活用促進 等

### ⑤ 旅後(タビアト)

- ・沖縄から帰省した後の健康状態について、旅行者からの情報収集 等



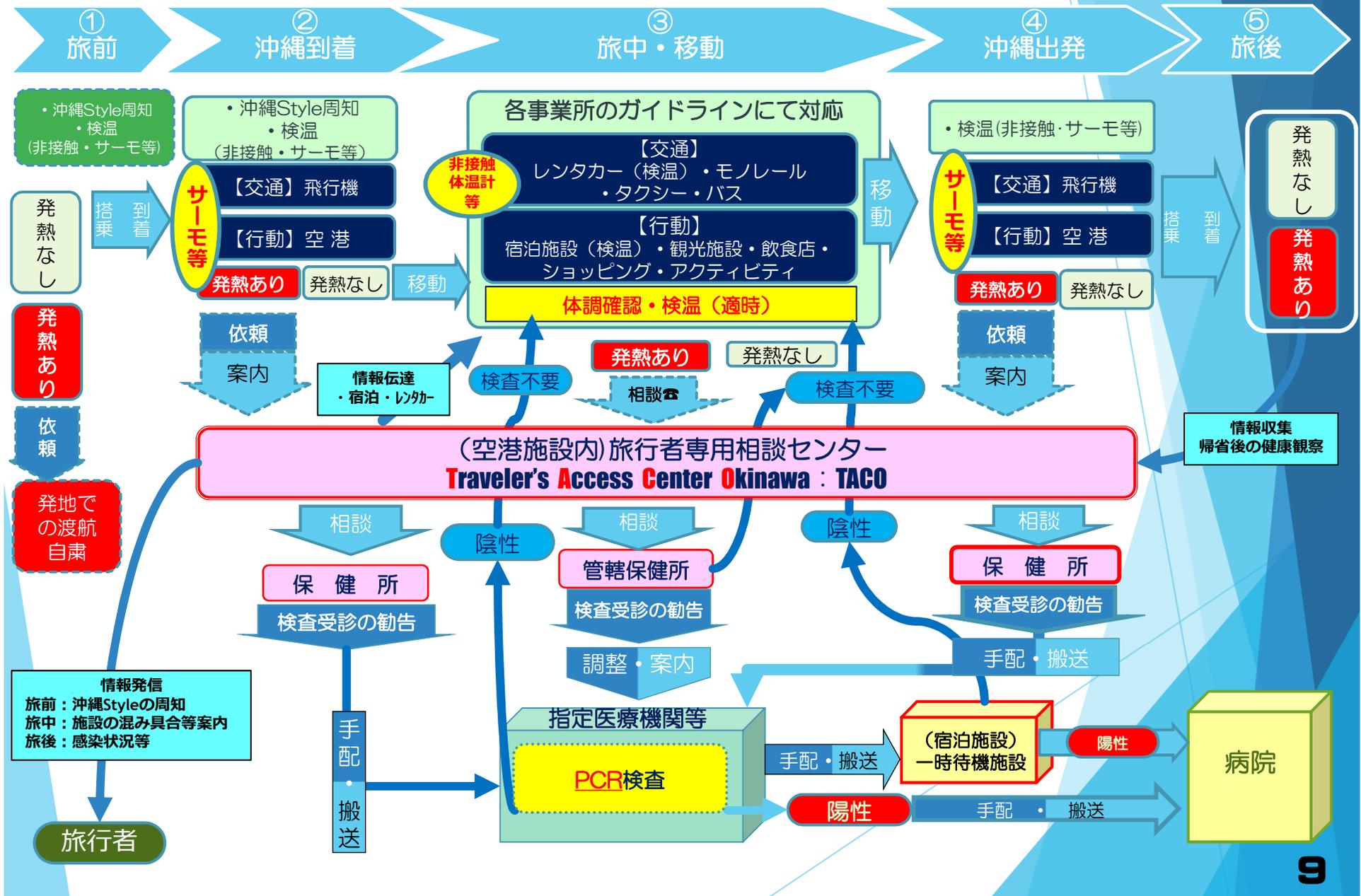
## (3) 情報発信・伝達・収集の取り組み

- ・沖縄Tour Styleに基づく沖縄観光の安全・安心の取り組みについて各種メディアを活用して県内外への情報発信。
- ・沖縄から帰省した後の旅行者の健康状態の情報収集を行う。 等

## 4. 取り組みに係る各主体の役割



# 旅行者(県民を含む)の受入に関する新型コロナウイルス感染症対策



### III 終わりに～沖縄を愛する旅行者の皆様へ～

旅行者の皆様を安全・安心にお迎えするため、私たちは今回策定した沖縄Styleに基づき感染予防・拡大防止に取り組んでいきます。

そして、旅行者ご自身の健康を守るためにも、旅行者の皆様には5つのお願いがあります。

- 1つ目は、日常における新しい生活様式の徹底をお願いします。
- 2つ目は、沖縄に来る際の「旅前（タビマエ）」の体調管理の徹底をお願いします。
- 3つ目は、発熱があり、感染の懸念がある場合は、渡航自粛の検討をお願いします。
- 4つ目は、沖縄滞在中「旅中（タビナカ）」に、検温等で発熱などがあった場合は、TACOを活用した感染拡大防止対策にご協力をお願いします。
- 5つ目は、「旅後（タビアト）」の体調等に関する情報提供のご協力をお願いします。

新型コロナに負けない安全・安心で持続可能な観光地沖縄へシフトチェンジをしていくためには、旅行者の皆様のご理解とご協力が必要です。



沖縄へお越しになった際は、  
最大限のおもてなし、うとぅいむちの心で  
お迎えすることをお約束します。